

新型コロナウイルス感染拡大防止にあたって

【（公財）日本スポーツ協会・（公財）日本ソフトテニス連指針参照】

～参加者の対応～

- ① 参加者は大会・イベント開始前に検温をし、体調チェックリストを運営側に提出すること。
- ② 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合の前後ではマスクを着用すること。
- ③ 会場内では他人との距離を2メートル確保すること。また、コート内においてもできるだけ2メートルを確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること。
- ④ 試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。
- ⑤ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1 m以上離れて行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とすること。
- ⑥ ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。チェンジサイズは時計回りで移動すること。
- ⑦ 団体戦においてコートに入場できるのは対戦する3ペアの選手と、ベンチコーチの監督のみとし、待機選手はコート内後方で一定間隔を保ち応援すること。（ただし、フェンスを挟んでの、応援者との距離にも注意すること）
- ⑧ 一般の応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するよう、チームごとで応援者に注意喚起を行うこと。
- ⑨ 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。
- ⑩ 試合終了の度に、こまめな手洗いを行うこと。
- ⑪ チーム内などにおいて、感染者が発生した場合は、チームを活動停止するとともに大会への出場を中止し、関係者に連絡すること。
- ⑫ 大会開催後に大会参加者・関係者らの感染が判明した場合には、速やかに岐阜県ソフトテニス連盟に報告し、岐阜県ソフトテニス連盟は日本ソフトテニス連盟に報告します。
- ⑬ 感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように特段の配慮をすること。